

# SKY コーナー

## 「関東KAIZENフォーラム2016」開催

—見る目 気づく目 工夫の目  
新たな目線で KAIZEN実践—



情報通信エンジニアリング協会 関東支部

### はじめに

2016年11月21日、東京都江戸川区のタワーホール船堀において、会員会社はじめ関係者約420名にお集まりいただき、「関東KAIZENフォーラム2016」を盛大に開催しました（写真1）。

冒頭、伊東 則昭 関東SKY運動推進本部長より開会挨拶がありました（写真2）。

「この関東KAIZENフォーラムは、通信建設会社におけるSKY活動の取組みとして昭和62年から開催され、関東支部各社の改善策の成果発表会という事で、今回で30回目となります。

通信建設業界で働く私たちは、いただいた仕事に対して安全で十分な品質で答えなければなりません。また、環境の変化にも対応していくことで、会社としての付加価値を生み出しています。日頃から、現場の作業においては、小さなことから大きなことまでさまざまな改善活動が展開されています。今回、各社の代表

チームに発表をいただきますが、その背景にたくさんの改善活動があることに敬意を表したいと思います。

現在、通信建設業界をめぐる環境は大きく変化しているとともに活性化しています。その活性化を支えているものには、2点あります。

ひとつは、NTT東西様による光コラボレーションモデルなどに代表される、新しいビジネスモデル。もうひとつはNTTドコモ様を初めとする携帯関連会社が展開されているMVNOを使った格安スマホによる市場活性化の動きです。

また、環境の変化はお客様の变化、多様化も意味しています。その変化や多様化に対し、今まで以上に臨機応変に物事を改善していく姿勢が求められています。

一方、昨今、事故が多発しており、ゆゆしき事態であります。6月に死亡事故が発生した後、3カ月の間に

5件もの重大事故が発生しました。

この状況への対策の1つとして、ITEAでもモバイル安全部会を設置しました。従来は固定系が中心でしたが、今後の業務多様化に対応していくためには、安全体制も変化していかなければなりません。

今日は、各社のさまざまな改善活動をお聞きいただき、他社の良い点を持ち帰って、地道な改善活動の一助にしていいただければ幸いです。活発な意見交流の場にしていただきたいと思います。」

### 成果発表

林 紳太郎氏（株）ミライト・テクノロジーズ）、桑原 翔子氏（日本コムシス株）の司会により（写真3）、会員各社から選ばれた代表7サークルおよび協賛発表2サークルによる成果発表が行われました（表1・写真4）。マンホール・ハンドホール鉄蓋用セキュリティシリンダー錠の開発から、業提物品の代理購入拡大に向けた仕入業務の改善まで幅広い



写真1 タワーホール船堀



写真2 伊東本部長挨拶



写真3 成果発表司会

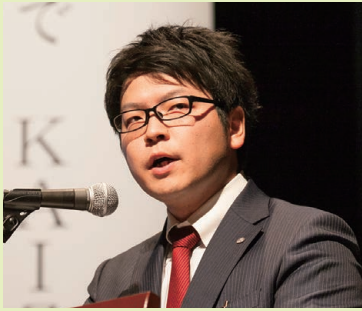
表1 発表テーマ概要

| No. | テーマ名                                    | 概要   | 社名・サークル名／チーム名  | 発表・PC操作               |
|-----|---|--|--|-----------------------|
| 1   | NTTマンホール・ハンドホール鉄蓋（P型平型）用セキュリティシリンダー錠の開発 | 2020年東京オリンピックに向けて、道路上に設置されているNTTマンホール・ハンドホールに対して、テロ対策の観点からセキュリティ強化を求められることが想定されます。そのため、「低コスト・短時間」で設置できるP型・平型鉄蓋用セキュリティシリンダー錠を開発しました。  | (株)ミライト<br>NTT事業本部 土木事業部<br>技術開発本部                   | 発表：土井 常敬<br>操作：吉住 祐   |
| 2   | メタル心線 誤接続防止用マーキングテープの作成                 | 過去の設備事故で誤接続による事故が発生していますが、現状では再発の繰り返しとなっていることから、抜本的対策が必要と考え、「気付かせる」「やる癖をつける」「絶対手を抜かない作業手順の構築」をするため、「マーキング方法の統一」「マーキングの切断及び線番の記入がし易い」を目指し、ニッパ等を使用せず簡単に切れて、ボールペン・サインペンでも記入できるマスキングテープに線番等を記入できるように印刷したマーキングテープを作成し誤接続・誤切断防止を図りました。                                       | 日本コムシス(株)<br>とちおとこ Mark II                           | 発表：田村 隆行<br>操作：黒川 高史  |
| 3   | マクロで、まっ苦勞せずに行こう                         | ルータ・スイッチで構成されるIP-NW検証・設計・工事を安全・迅速に行うには、装置動作プログラムに長けることが必要となります。今回、これら業務について、関連する連絡・周知作業と併せ、マクロプログラムにより効率化を図った事例を紹介します。   | (株)ミライト・テクノロジーズ<br>真っ黒クロスケ                           | 発表：畑 淳一<br>操作：足立 勝樹   |
| 4   | 柱上安全帯D環改良へのチャレンジ                        | 今なお"0"になることのない高所からの転落事故。「どうすれば仲間と自分自身の安全をより確実なものにできるだろうか」このようなテーマのもと、日々の作業で使う安全帯のD環に着目し、掛けやすい構造に改良することで、TOSYS仕様の安全帯を考案しました。  | (株)TOSYS<br>でいかん                                     | 発表：小柳 美菜子<br>操作：若林 宏幸 |
| 5   | 地下中継光用クロージャにおけるスパイラルスリーブ固定方法の提案         | 地下中継光用クロージャの光心線保護に使用する7号FSCスパイラルスリーブの固定方法を改善することで光心線の急激な曲げを抑制し、かつ作業の手戻りを無くすことで効率化を図りました。   | (株)つうけん<br>カイゼン魂                                     | 発表：畠山 和仁<br>操作：新保 潤平  |
| 6   | 事故は必ず防げる（クレーンフックの改善）                    | クレーンフックの外れ止め金具部分による、指挟まれ事故が連続して発生しました。同様の事故を二度と起こさない為にも、事故防止を目的とした試作品を考案しました。  | (株)エクシオテック<br>チームあっ (AH) ちゃん                         | 発表：小松 忠弘<br>操作：大森 透   |
| 7   | 4T/8T光ドロップケーブル切替作業効率化の考案                | 地下配・支障移転工事において既設4T/8Tドロップ光ファイバの架空からのビル込みの光切替作業においては、MDF等に入出し、成端箇所での切替えを行なっています。この切替作業では、借用都合等による夜間入館等の調整が必要なため、ビルオーナー様との調整に多くの時間を要し、オーナー様にもご迷惑を掛けていました。また本工法が、お客様宅（マンション等）の引込が私設柱のケースにも対応できるよう、屋外成端保安器融合型光キャビネットを私設柱に確実にかつ容易に取付けられる手法をも考案し、中間接続工法が適用できる個所の更なる拡大を図りました。 | (株)協和エクシオ<br>城西技術センタ                                 | 発表：鈴木 明文<br>操作：金澤 慶輔  |
| 8   | 【協賛発表】<br>接続端子かん用ロッドクリップの改良             | 接続端子かん用ロッドクリップの改良要望に応え、「安全性向上（落下抑制機能の付加）」、「施工性向上（支持線径別反転使用の不要化）」、「機能向上（支持線把持力の向上）」、「軽量化」、「コストダウン」を実現したロッドクリップを開発しました。  | (株)三代川製作所<br>那須電機鉄工(株)<br>三代川・那須 合同<br>架線金物KAIZEN WG | 発表：村木 康二<br>操作：大阪 克行  |
| 9   | 【協賛発表】<br>業提物品の代理購入拡大に向けた仕入業務の改善        | 資材業務改革の一環として、平成27年7月より、NTT東日本様の支給材料として扱われてきた光ケーブル、CCPケーブル、PECケーブル、光スプリッタ、新型光クロージャ、MH施錠装置などが業提物品として拡大適用されました。扱ひ量が増えること、利活用物品の販売等新たな業務に対して、円滑な移行と効率的な仕入業務を行うよう、システム投入方法やツールの開発、マニュアル作成等の業務改善を行い、現行の要員のままで業務を遂行してきました。  | 資材リンコム(株)<br>中央支店仕入グループ                              | 発表：長島 慶<br>操作：唐鎌 忍    |

テーマで発表が行われ、会場からは熱心な質問が寄せられていました。

発表に続き、大会スローガンに選ばれた日本コムシス(株)の高野 伸氏の「見る目 気づく目 工夫の目 新たな目線で KAIZEN実践」、安

全標語に選ばれた(株)協和エクシオの堂園 功氏の「止める勇気と待つ判断 手を出す前に危険予知 みんなで目指す ゼロ災害」を参加者全員で唱和しました(表2・写真5)。



(株)ミライト



日本コムシス(株)



(株)ミライト・テクノロジーズ



(株)TOSYS



(株)つうけん



(株)エクシオテック



(株)協和エクシオ



(株)三代川製作所 那須電機鉄工(株)



資材リンコム(株)

写真4 成果発表

表2 大会スローガンおよび安全標語

大会スローガン

| 作 品                                      | 結 果 | 会 社                  | 氏 名   |
|--|-----|----------------------|-------|
| 見る目 気づく目 工夫の目 新たな目線で KAIZEN実践            | 最優秀 | 日本コムシス株式会社           | 高野 伸  |
| 隠れた無駄を見つけ出し 変える気持ちが大きな進歩。みんなで挑もうKAIZEN活動 | 入選  | 株式会社つうけん             | 但田 博明 |
| 気づいたら 心にしまわず すぐ行動、みんなで築くKAIZEN活動         | 入選  | 株式会社<br>ミライト・テクノロジーズ | 小山 修司 |
| カイゼンにこれで終わりの文字は無し 意識の変化に意味がある 小さな改善大きな効果 | 入選  | 株式会社TOSYS            | 窪川 理華 |

安全標語

| 作 品                                   | 結 果 | 会 社         | 氏 名   |
|---------------------------------------|-----|-------------|-------|
| 止める勇気と待つ判断 手を出す前に危険予知 みんなで目指す ゼロ災害    | 最優秀 | 株式会社協和エクシオ  | 堂園 功  |
| 慣れた作業に見えない危険 目で確認 指差呼称で再確認 みんなで作る安全職場 | 入選  | 株式会社協和エクシオ  | 高見 豊  |
| 忘れるな！ルールがある事 守る事 正しい作業で ゼロ災職場         | 入選  | 株式会社つうけん    | 田崎 純一 |
| 危険を感じたその動作！！止める勇気と見直す意識               | 入選  | 株式会社エクシオテック | 市川 富雄 |

## 特別講演

元プロトライアスリート 五輪ト  
ライアスロン代表監督の飯島 健二  
郎様から「予測する力ー事故を防ぐ  
状況判断能力を培うにはー」と題し

て特別講演をいただきました。

## 表彰式

特別講演に続き、発表9サーク  
ル、大会スローガンおよび安全標語  
入選者（最優秀2名）に対し、伊

東 則昭 関東SKY運動推進本部長  
から感謝状・副賞の贈呈が行われ、  
会場は大きな拍手に包まれました。  
安全への思いをあらたにして、関東  
KAIZENフォーラム2016は盛会の  
うちに終了しました（写真6・7）。



写真5 大会スローガンおよび標語の唱和



写真6 表彰式



写真7 記念撮影